



# 東京むかでワイズメンズクラブ

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center  
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20  
東京YMCA東陽町センター内  
TEL 03-3615-5565

2021年7月～2022年6月

会長 土井 宏二  
副会長 森本 晴生  
直前会長 今井 武彦

国際会長主題 「世界とともにワイズメン」  
アジア会長主題 「100年を超えて変革しよう」  
東日本区理事主題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」  
東新部部长主題 「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

書記 今井 武彦  
会計 高津 達夫  
担当主事 山梨 雄一

## 2021年11月本例会 (717回)

( 強調月間 : ASF )

### 今月の聖句

誓いを立てて果たさないなら。  
誓いを立てないほうが良い。  
(コヘレトの言葉 5-4)  
When you make a vow to God, do not delay  
fulfilling it, for he has no pleasure in fools.  
Fulfill what you vow. (Kohélet 5-4)

### 11月ハイブリッド本例会

日時 2021年11月16日(火) 18:00～19:30  
場所 東京YMCA東陽町センター、Zoom  
URLは13日頃、山梨雄一主事より送信されます

### 11月ASFについて

ASF: Alexander Scholarship Fundの略。将来YMCA主事になろうとする青年への財的援助を主なる目的で設置された国際協会の基金。現在、CS基金と合せて[CS・Yサ・ASF 資金]として運営し、地域社会奉仕事業、Yサ事業及びYMCAが行う主事研修等に用いられている。毎年自由献金(PWALP 800円/人、ASF 500円/人)で貢献。(高津 記)

### HAPPY BIRTHDAY

2日 神保 久子  
結婚記念日おめでとう  
15日 森本 晴生・路子

### 東京むかでクリスマス例会のご案内

日時: 12月21日(火) 18時より  
場所: 東京YMCA東陽町センター

### 11月本例会プログラム

(東陽町センター&オンライン)

司会	城井 廣邦
開会点鐘	会長 土井 宏二
ワイズソング	一同
ゲスト・ビジター紹介	司会
今月の聖句・感謝	神保伊和雄
卓話「にほんご学院と留学生の動向について」	東京YMCAにほんご学院 望月 温 校長
強調月間アピール	高津 達夫
ハッピーバースデー・結婚記念日	司会
スマイル	高津 達夫
諸報告	
閉会挨拶	副会長 森本 晴生
閉会点鐘	会長 土井 宏二

### 2021年10月の記録 (\*累計は期初からの24累計)

会員出席状況		メーキャップ記録		スマイル	0円
正会員	11名	出席(メネット)	0名	土井宏二 9/28 第二例会	BFポイント 現金累計 0円
功労会員	1名	出席(コメント)	0名	城井廣邦 9/28 第二例会	切手累計
在籍者数	12名	出席(ゲスト)	0名		
出席(正会員)	7名	出席(ビジター)	1名	2名	リングブル 累計 325.2 kg
出席(功労会員)	1名	例会出席総数	9名	9月出席率 82%	むかで基金 今月分 0円

会費振込先 みずほ銀行 亀戸支店 (普通) 3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

## 10月ハイブリッド本例会報告

10月例会は10月19日(火)午後6時より、東京YMCA 東陽町センターホールとZoomによるハイブリッド形式で行われました。

土井宏二会長と司会の城井宏邦訓がお休みのため、今井武彦直前会長・書記が会長と司会役を務め開会点鐘、ワイズソングをフルコーラス歌い、今月の聖句を述べ、お祈りを捧げました。【写真下=東陽町での例会風景】

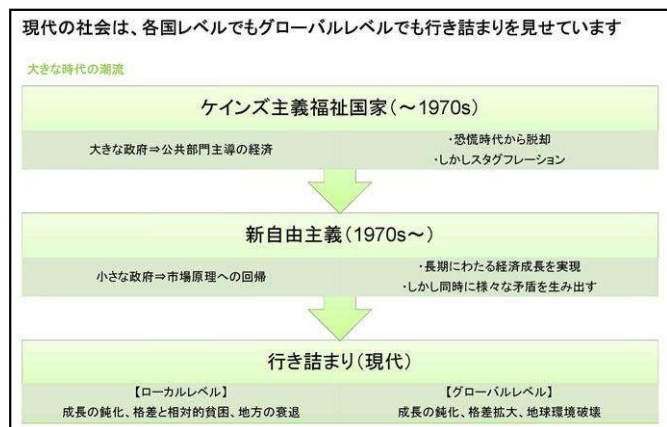


コロナ禍の例会ということで食事は無し、さっそくZoom出席の福島和州太郎君【写真下】による「これからの経済成長と正義」というテーマの卓話となりました。最初に自己紹介があり、引き続いて3つのテーマで話されました。

《自己紹介》1990年2月仙台生まれ。高校生の時に公認会計士だった父親が急逝、大学4年の時に公認会計士試験に合格、新卒で監査法人に入所、2020年9月からは独立して福島和州太郎公認会計士事務所を開設し、現在に至っています。座右の銘は「今を生きる」。



《『新成長戦略』とこれまでの経済》 これまでは、個人の自由を再評価、公営事業の民営化、社会全体の富を拡大することが成長モデルであった。2020年11月、経団連はこれまでの行き過ぎた「新自由主義」を乗り越えるべく、持続可能な成長を目指した『新成長戦略』を発表。



新自由主義とは、1970年代の時代の要請から市場原理への回帰として現れました。企業の社会的責任は利益を増やすこととされ、時の政治家(レーガン、サッチャー、

中曽根など)は新自由主義に基づく諸政策を実行してきました。しかし、経済活動の拡大は、環境問題や格差問題、セーフティーネットが充分でないなどの行き詰まりを見せており、特にコロナ禍においては、社会的弱者に対して深刻な悪影響を及ぼしています。

新自由主義は、経済学の一学派として社会政策に大きな影響を与えてきましたが、その背後にあるべき道徳・倫理的な後ろ盾となる思想が低迷していた時代に登場したため、そこには哲学がありませんでしたし、後期近代は何が「望ましい」のかわからずに突き進んできました。

《世界経済・社会に起こったこと》 現在、コロナ感染者は世界で2億3千万人、死者は480万人、日本では170万人が感染、1万7千人が亡くなったと言われています。ワクチンの3回目の接種については、2回目から8か月後をめどに、厚労省で検討されています。ワクチン接種率も、先進国と後進国の格差が深刻で、コロナの終息はまだ遠い道のりであることが示唆されます。

また、産業別に見てもコロナの影響は急激で、大きな差異が見られます。ホテルやレストランなどのハイコンタクト型業種では影響が大きく、低接触な業種では影響が少なくなっています。

教育分野への影響も大きく、長期にわたる学校閉鎖は人材育成を阻害し、それも途上国の閉鎖が長く、悪影響を将来にわたって残す恐れがあります。

また、世界では半導体不足、コンテナ不足、労働者不足などで、サプライサイドからの逼迫が価格高騰を招き、悪性のインフレを経験しています。世界の中央銀行では、どうバランスを取るかの姿が浮き彫りになってきます。

《世界は「Great Reset」していく》 経済格差は、世界中で急激に拡大し、特に社会的弱者に深刻な影響を及ぼしています。これは既存の社会的なセーフティーネットが充分でなかった証で、より強靱で持続可能なSDG'sのような新しい価値観が求められています。

最後に、ホモサピエンスがアフリカ東部からユーラシア大陸、北米から南米へと進出したことを例に引き、何が優れていたのか、価値観の変化を引き起こすマインドパワーこそが現生人類を生き永らえさせた最大でユニークな力です、と締めくくりました。

強調月間は、BFについて長谷川正雄君がアピール、結婚記念日は長谷川君、高津君、山梨主事に記念品を贈呈しました。

神戸ポートクラブから出席の大野勉氏からは、9月に行われた「YYY余島シニアキャンプ」のビデオを上映いただきました。

閉会あいさつは、欠席の森本晴生君に代わり長谷川

君が述べ、例会を閉じました。(伊丹一之 記)

メンバー:【リアル】伊丹、今井、神保、高津、長谷川、  
山梨

【Zoom】櫻井、福島

ビジター:大野勉(神戸ポート) (敬称略)

### 「思い出のランドセルギフト」プロジェクト

紆余曲折がありました、長い議論の先でスタートできる目途がついてきました。

しかし、アフガニスタンの政権がタリバンになり、多くの方々「もうだめだ」と思ったに違いありません。しかし、運よくタリバンは「思い出のランドセルギフト」のプロジェクトを承認して、活動の継続が可能となりました。そこにはジョイセフのスタッフの方々の努力と交渉があったことに感動しました。「まさか」と思うことを起こしたのですから。そして、アフガニスタンの世情不安で、支援いただく企業様もタリバンから承認いただいた報告にご理解いただき、支援のお約束をいただくことが出来ました。このプロジェクトほど難題の山積であったことはなかったと思います。我慢の連続でした。

これからはアフガニスタンの子どもたちがランドセルを待っていることを糧に、実現への努力を続けたいと思っています。スポンサー支援のお金はジョイセフが受け取っていただくことで銀行口座開設の必要はなくなりました。女性推進チームが生まれ、全国の女性たち(お母さん)へのアプローチのシナリオがより実現性を高めることが出来ました。事務局は石巻広域ワイズと深く関係性を築いてきたNPO東北ヘルプが手を上げてくださり、体制が一步一步整うことが出来ました。いよいよエンジンスタートさせる時が近づいてきたように思います。良い地に蒔いた種であって欲しいと思います。(城井廣邦 記)

### シニア Y・Y・Y キャンプ

私たち「むかで」が大切に育ててきたシニア Y・Y・Y キャンプが、コロナで2年間開催中止となってしまいました。来年2022年5月20日～23日によりやく開催することの目途がついてきました。

私たちのテーマは「シニアになっても人生を楽しむ」です。人生100年の時をいかに楽しい一生にするか。このキャンプを通して人生を楽しむヒントをつかんでいただきたいと思います。参加いただく方に楽しい時を提供するための企画を一生懸命に仕込んでいます。新しいプログラムを考え、新しい体験をしていただきたいと思います。夜は、ジャズコンサート、落語、カントリーウエスタンコンサート、昼は多彩なフリーチョイスプログラムが待っています。

また、小学1年、3年とご夫婦の4人が、今回のキャンプに

参加したいと申し込んでくれました。私たちが考える「楽しい時」は、世代を越えて共感の輪を広げています。ぜひ多くの方の参加をお願い致します。(城井廣邦 記)

### 会 長 通 信

コロナ感染者もようやく収まり気味、緊急事態宣言も解除になり、ようやく三密、マスク、不要不急の外出に気を付けながら日常生活に戻れそうです。77年間の人生で麗子の闘病生活、その後のコロナ、約4年間はゴルフ、スキー、登山、海外旅行等を封印し、静かに暮らしました。学んだことはたくさんありました。

1. うぬぼれていた自分が皆に迷惑をかけた。謙虚さに欠けていた。ランドセルプロジェクトのトラブルが事例。
2. まず自分ができる小さなこと、相互のほほえみ、いたわり、許し合いが、結果的には自分を成長させる。今は近所のお付き合いを大切にしている。将来的にはシルバー食堂 カラオケ。
3. 若い時出来たことが年齢とともにできなくなることがあるが、今出来る事に感謝する。家事全般楽しく実行。
4. 自分の言い分を少し抑えて、耳は2つ、口は1つ、相手の話をまず聞く。敬老会の運営はこれが基本。
5. 自分は独りではない。いつも誰かに見守られている。感謝・感謝。心配なのか麗子がお世話になった看護師さん、信用金庫の担当さん、昔の友人、麗子の親族、娘、弟、妹等が家に寄ってくれ、話をしてくれる。旧友からの電話、手紙、有難いです。

これからも麗子が楽しく暮らしている阿弥陀浄土から呼ばれるまで、無理せず、他人に迷惑をかけず、自分の範囲内で「お返し」をしながら楽しみたいと考えています。

むかで会長として積極的な活動をせず、誠に申し訳ありません。(土井宏二 記)



【国際協会から「100日会員増強」の表彰状が来ました】  
< 11月の予定 >

- 1日(月) 東京町田コスモス・11月本例会 (ハイブリッド)
- 2日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会 (16:00～)

- 2日(火) 東京多摩みなみ・11月本例会 (Zoom)
- 9日(火) 東京・11月本例会 (ハイブリッド)
- 11日(木) 東京センテニアル・11月本例会
- 19日(金) 東京世田谷・11月本例会 (ハイブリッド)
- 16日(火) 東京むかで・11月本例会 18:00 (ハイブリッド)
- 17日(水) 東京町田スマイリング・11月本例会 (Zoom)
- 20日(土) 第2回東新部評議会 (Zoom)
- 21日(日) 第3回ワイズ・ナイトフォーラム 20:00 (Zoom)
- 24日(水) 東京むかで・第二例会 18:00～(Zoom)

< 12月以降の予定 >

- 7日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会(16:00～)
- 12日(日) 東京YMCA東陽町クリスマス・オープンハウス
- 21日(火) 東京むかで・12月本例会 18:00 (ハイブリッド)
- 28日(火) 東京むかで・第二例会(18:00～Zoom)

**10月第二例会報告**

10月26日(火) 18:00より、Zoomにて第二例会を開催いたしました。

以下が協議・報告事項です。

1. 11月ブリテン発行の件  
編集担当は伊丹一之君、原稿締め切りは10月30日  
印刷会は11月2日(火)16時より東陽町センター
2. 11月の本例会はハイブリッド方式で開催する。  
緊急事態宣言解除なるも、食事なしで対応。
3. 12月クリスマス本例会の件  
開催方法は11月第二例会で決定する。  
礼拝は石丸牧師または小松牧師に依頼する。  
奏楽は丸山もと子さんに依頼(神保君から依頼済み)
4. 1月本例会の件  
東京クラブとの合同例会とすべく東京クラブに依頼中
5. 東新部第2回評議会の件  
11月20日(土)にZoom開催の予定
6. 在京クラブ会長会・新年会の件  
在京17クラブ会長あてにアンケート発信。  
2022年1月8日(土)午後1時から、約2時間の開催とする。  
プログラムは、東京YMCA総主事と東日本区理事の挨拶、「思い出のランドセルギフト」の講演、参加クラブ会長の活動報告、YMCA報告とする。  
11月上旬に、野澤さん製作になるポスターを配信したい。
7. 2022年5月開催予定のシニア Y・Y・Y キャンプの件  
10月15日に土井会長宅にて実行計画を作成した。  
新規プログラムとして「フラダンス」を入れる予定  
夜のプロは、落語、ジャズ、田下グループを予定している。
8. その他  
・YMCAソシアスフォーラム 11月13日(土) (今井)

・10月16日に石巻出張、石巻の浜をサーフィンのメッカにしたい件について(城井) (伊丹一之 記)  
出席者: 土井、伊丹、今井、櫻井、城井、神保、高津、長谷川、福島、山梨

**東京YMCAニュース**

▼10月15日、「東京YMCA高等学院を支えるためのチャリティーコンサート」が日本基督教団霊南坂教会で開催され、73人が来場した(他にオンライン視聴者22人)。飯靖子氏(オルガン・ピアノ)と飯頭氏(ヴィオラ)による演奏の他、高等学院生徒有志による音楽物語「ピーターと狼」やトーンチャイムの演奏もあり、好評であった。当日寄せられた募金も含め益金約17万円は高等学院の活動のために用いられる。

▼「第35回インターナショナル・チャリティーラン」が10月16日に開始され、昨年に続きスマートフォンの歩数計アプリを使ったウォーキングイベントとして実施。10月31日までの会期中、「らくらくウォーク」(個人参加)に120人、「チームレース」(チーム参加)に48チーム、総勢約900人が参加する。益金は東京YMCA及び全国YMCAが行う障がい児・者支援プログラムのために大切に使用して頂く予定。

▼冬期キャンプは、感染対策を万全にして実施に向け、YMCA東山荘(御殿場)や高尾の森わくわくビレッジでのキャンプ、家族対象リトリート、デイキャンプなど、プログラム内容や形式を工夫しながら企画を進めている。冬休み中のプールのスクールや語学プログラムも実施にて準備を進めている。(山梨雄一 記)

**10月会計報告・リングプル報告**

1 月間収入・支出合計 期間 10/1～10/30

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	0円	4,878円
活動基金部	0円	30,000円

経常収入: なし

経常支出: 通信切手、ブリテン用紙

活動基金収入: なし

活動基金支出: Y協賛(チャリラン、オープンハウス、国際協力募金) (高津 記)

2 リングプル 10月預かり分

(神保 記)

協力者名	重量	今月合計	重量
吉田司・紘子 G	25.0kg	同左	25.0kg

**編集後記**

10月から11月は一番過ごしやすい季節でしたが、最近夏が長引き急に冬になってしまうようです。体調には気を付けて、ワイズをエンジョイしましょう。(伊丹一之 記)